## 令和3年度 月島第二小学校 自己評価報告書

学校名:中央区立月島第二小学校 所在地:中央区勝ちどき1-12-2

校長名: 柄澤 武志 児童数:635名(令和4年2月1日現在)

用務主事: 2名 栄養士: 1名 教員数:31名 事務主事:1名

### 1 重点目標の達成状況及び取組状況

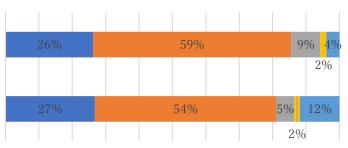
(1)確かな学力を身に付けさせる教育活動 〈保護者アンケート〉

# 重点目標1 確かな学力を身に付けさせる教育活動

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

①児童は学習することの楽しさを感じながら主体的に学び、 課題を解決する力を身に付けることができたか。

②児童は個に応じた指導の工夫(習熟度別少人数指導、放課 後補習指導等)により、基礎的・基本的な学力を身に付ける ことができたか。



■十分達成している ■達成している ■改善を要する ■緊急に改善を要する ■わからない

「児童は学習することの楽しさを感じながら主体的に学び、課題を解決する力を身に付けることができた か。」については85%、「児童は個に応じた指導の工夫(習熟度別少人数指導、放課後補習指導等)により、 基礎的・基本的な学力を身に付けることができたか。」については81%の肯定的な評価をいただいたものの 「改善を要する」や「わからない」の評価も一定数あった。今後は、学校公開等を通して児童の学習の様子を 参観する機会を設けるとともに、身に付けた力が分かるように学習力サポートテスト等のデータに基づく説明 を面談等を通して行っていく。

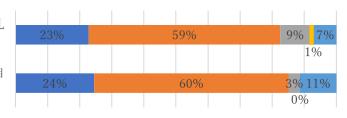
### (2)豊かな心を育む教育活動 〈保護者アンケート〉

#### 重点目標2 豊かな心を育む教育活動

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

①児童は状況に応じた気持ちのよい返事や挨拶をして、礼 儀正しさを身に付けることができたか。

②児童は道徳の授業や命と心の授業等の機会を通して、自 他共に、生命の大切さについて考えることができたか。

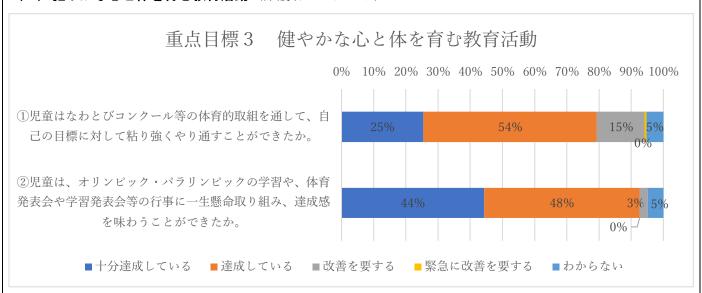


■十分達成している ■達成している ■改善を要する ■緊急に改善を要する ■わからない

「児童は状況に応じた気持ちのよい返事や挨拶をして、礼儀正しさを身に付けることができたか。」につい ては82%、「児童は道徳の授業や命と心の授業等の機会を通して、自他共に、生命の大切さについて考えるこ とができたか。」については84%の肯定的な評価をいただいたものの、重点目標1と同様、「改善を要する」 及び「わからない」の評価もあった。年間を通した教科等の学習指導と併せ、今後も生活指導部及び道徳部等、 学校全体で組織的な取組をしていく。

なお、コロナ禍で平時よりも学校の学習活動の様子や、児童の成長を参観いただく機会が限られているため、 ホームページの充実や学校・学年便りの充実や、保護者会や面談等の機会を効果的に活用していく。

### (3) 健やかな心と体を育む教育活動〈保護者アンケート〉



「児童はなわとびコンクール等の体育的取組を通して、自己の目標に対して粘り強くやり通すことができたか。」については79%、「児童は、オリンピック・パラリンピックの学習や、体育発表会や学習発表会等の行事に一生懸命取り組み、達成感を味わうことができたか。」については92%の肯定的な評価をいただいた。本校の教育の特色であるマイスクールスポーツ「なわとび」を通した体力の向上と、なわとびの専門家を招聘しての指導や児童指導員の制度を生かしたなわとび技術の向上を今後も図りながら、豊かな心と体を育んでいく。

# 2 重点目標以外自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者アンケート設問9「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。」では、74%の保護者が「学校は児童の問題や悩みに向き合っている」と思っていることが分かった。しかし、残りの26%の保護者が問題や悩み、トラブルに正対していないか、もっと向かい合うべきと考えていることが推測できた。コロナ禍で制限のある生活や先行きの不安を抱える児童、保護者の相談も増えている。今後も全教職員はもとより保護者や地域の方々、関係機関等と連携・協力しながら児童の健全育成に努めていく。また、設問11「学校はタブレット端末を児童の学習に活用している。」では、約72%の保護者に肯定的な評価をいただいた。しかし、28%の保護者が「タブレット端末をもっと児童の学習に生かすべきである」と考えていることが分かった。タブレット端末は、今年度から一人一台支給されたばかりではあるが、約30%の保護者がまだまだ使えるのではないかと期待をしている。校内の情報教育担当教員を中心としたICT支援員の活用と、効果的なタブレット端末の授業での活用について研修を深めていく。

# 3 今後の改善方策

学校の重点目標3つに対して、概ね80%超える方が目標を達成していると評価をしているところから、教育活動が滞りなく進んでいることが成果として上げられる。今後は、より児童の姿や成長を通して、本校の目指す教育が家庭や地域等に共有され、重点目標が十分達成されるよう努めていく。

児童アンケートでは、本校の児童の特徴として、①授業の内容をよく理解していること、②友達と仲良く生活していること、③みんなで使うものを大切にしていること、④マナーを守って給食を食べていることが分かった。

今後も児童の姿を通して、育成すべき資質・能力を全教職員で共有し、保護者や地域の教育力をいただきながら、目指す児童像の育成に向けて日々の教育活動の充実を図っていく。